

以上をとり、酒精剤の製法により製する。ただし、「アンモニア水」の代わりに強アンモニア水及び「精製水」適量を用いて製することができる。

性状 本品は微黄色～黄色澄明の液で、特異なおいがあり、味はわずかに甘く、舌をさすようである。

比重 d_4^{20} : 約 0.85

アルコール数 7.8 以上 (第 2 法)。

貯法 容器 気密容器。

イオウ・カンフルローション

Sulfur and Camphor Lotion

製法

イオウ	60 g
<i>d</i> -又は <i>dl</i> -カンフル	5 g
ヒドロキシプロピルセルロース	4 g
水酸化カルシウム	1 g
エタノール	4 mL
常水又は精製水	適量
全量	1000 mL

「ヒドロキシプロピルセルロース」に「常水」又は「精製水」200 mL を加えて溶かし、これをあらかじめ「*d*-カンフル」又は「*dl*-カンフル」を「エタノール」に溶かした後、「イオウ」を加えて研和したものに少量ずつ加えて研和する。別に「水酸化カルシウム」に「常水」又は「精製水」500 mL を加え、密栓して振り混ぜた後、静置し、この上澄液 300 mL を前の混合物に加え、更に「常水」又は「精製水」を加えて全量を 1000 mL とし、振り混ぜて製する。

性状 本品は淡黄色の懸濁液である。

本品は放置するとき、成分の一部を分離する。

確認試験

(1) 本品をよく振り混ぜ、その 5 mL に水 25 mL を加え、遠心分離する〔上澄液は (3) の試験に用いる〕。沈殿 0.02 g にピリジン 2 mL、炭酸水素ナトリウム試液 0.2 mL を加え、煮沸するとき、液は青色を呈する (イオウ)。

(2) 本品をよく振り混ぜ、その 10 mL にジエチルエーテル 5 mL を加えて振り混ぜた後、ジエチルエーテル層を分取し、脱脂綿を用いてろ過する。脱脂綿をジエチルエーテル少量で洗い、洗液はジエチルエーテル液に合わせ、水浴上で注意しながらジエチルエーテルを留去する。残留物をメタノール 1 mL に溶かし、2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液 1 mL を加え、水浴上で約 2 分間加熱する。冷後、水を加えて約 5 mL とし、放置した後、生成した沈殿をガラスろ過器 (G4) でろ過する。ろ過器上の残留物を洗液が無色となるまで水洗し、エタノール (95) 10 mL に溶かし、水酸化ナトリウム試液 5 mL を加え、2 分間放置するとき、液は赤色を呈する (*d*-又は *dl*-カンフル)。

(3) (1) で得た上澄液はカルシウム塩の定性反応 (2) 及び (3) を呈する。

貯法 容器 気密容器。

イオウ・サリチル酸・チアントール軟膏

Sulfur, Salicylic Acid and Thianthol Ointment

製法

イオウ	100 g
サリチル酸, 細末	30 g
チアントール	100 mL
酸化亜鉛, 微末	100 g
単軟膏又は適当な軟膏基剤	適量
全量	1000 g

以上をとり、軟膏剤の製法により製する。

性状 本品は淡黄色である。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 10 mL を加え、加熱しながらよくかき混ぜ、冷後、ろ過する。ろ液 1 mL に硝酸鉄 (III) 試液 5 mL を加えるとき、液は紫色を呈する (サリチル酸)。

(2) 本品 1 g にジエチルエーテル 20 mL を加えて振り混ぜる。上澄液及び浮遊物を除き、残留物をジエチルエーテル 10 mL で洗った後、ジエチルエーテルを吸引により除く。残留物にピリジン 2 mL 及び炭酸水素ナトリウム試液 0.2 mL を加えて煮沸するとき、液は淡青色～青色を呈する (イオウ)。

(3) 本品 1 g にエタノール (95) 15 mL を加え、水浴上で加温しながらよくかき混ぜた後、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別にサリチル酸及びチアントール 0.01 g ずつをそれぞれエタノール (95) 5 mL に溶かし、標準溶液 (1) 及び標準溶液 (2) とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム/アセトン/酢酸 (100) 混液 (45 : 5 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、試料溶液から得た 2 個のスポットの R_f 値は、標準溶液 (1) 及び標準溶液 (2) から得たそれぞれのスポットの R_f 値に等しい。また、この薄層板に塩化鉄 (III) 試液を均等に噴霧するとき、標準溶液 (1) から得たスポット及びそれに対応する位置の試料溶液から得たスポットは、紫色を呈する。

貯法 容器 気密容器。

イクタモール

Ichthammol

本品は定量するとき、換算した乾燥物に対し、アンモニア (NH_3 : 17.03) 2.5 % 以上、硫酸アンモニウム [(NH_4)₂ SO_4 : 132.14] 8.0 % 以下及び総イオウ [(S: 32.07) として] 10.0 % 以上を含む。

性状 本品は赤褐色～黒褐色の粘稠性のある液で、特異なおいがある。

本品は水と混和する。

本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルに一部溶ける。